※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎ｂ	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	家庭基礎「気づく力　築く未来」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に必要な基礎的な知識や技術について学習します。
〇人の一生で起こる様々な問題や課題を見通し、多様な考えを知り、自分なりに、自分のペースで考えを探すことのできるような学習をします。
〇学んだこと、考えたことを自分の生活に反映させ、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

・実生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につける。
・家庭や地域の生活課題を考え、解決策について記述も含めた発表をすることができる。
・生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族･家庭の意義，家族･家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族･家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１０月前半	第７章　衣生活をつくる	家庭科を学ぶにあたって １節 人と衣服のかかわり	c：自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち，衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。			授業に取り組む態度
		２節 衣服の素材の種類と特徴	a：衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ，用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 b：衣服の用途によって，適切な衣服素材を考え，判断することができる。	授業プリント 中間考査	ワークシート	
		３節 衣服の選択から管理まで	a：・衣服材料の性能と特徴，衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって，衣服を適切に選択し，管理することができる。 ・衣類の購入から廃棄まで，計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 b：衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ，実生活での衣服管理において，適切な判断ができる。	授業プリント 小テスト 中間考査	ワークシート	
１０月後半		４節 持続可能な衣生活をつくる	a：不要となった衣類について，リサイクルに回す，作りかえるなど，実生活において実践することができる。 b：現在の衣生活をとりまく状況について，自分の衣生活を振り返りながら，課題を導き出すことができる。	授業プリント	ワークシート	
		５節 衣服の構造・デザイン	a：材料の選択，日常の衣服管理の方法を習得するとともに，基礎縫いなどの縫製技術を身につけ，日常着の管理ができる。 c：基礎縫いの確認のための実習や，衣服調査などにおいて，積極的に取り組もうとする。	授業プリント 実習		授業に取り組む態度
１１月前半	第８章　住生活をつくる	1節 人間と住まい	a：住まいの役割・機能について，地域の特性などをふまえて調べることができる。	ワークシート		

※令和４年度以降入学生用

		2節 住まいの文化	a：日本独特の生活様式と，それに伴う住まいの特徴を理解している。 b：現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。	中間考査	ワークシート	
		3節 住まいを計画する	a：住まいの機能・役割，またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 b：ライフステージと住空間の設計の関係，住環境について考えを深めることができる。 c：住まいの機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとする。	授業プリント 中間考査	ワークシート	授業に取り組む態度
11月後半		4節 健康に配慮した快適な室内環境	a：日照・日射・採光・照明，通気・換気，冷暖房など，健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また，住まいの清掃やメンテナンスについても理解し，快適な生活につなげることができる。 b：住まいの管理方法について，適切な掃除や頻度を考え，判断することができる。	授業プリント 中間考査	ワークシート	
		5節 安全な住まい	a：住まいの安全対策，住まいにおける健康管理など，実生活に役立てることができる。 b：・安全な住まいづくりや，快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ，その課題解決のための方策を考えることができる。 ・暮らしやすい住まいについて，住空間だけでなく，周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。	授業プリント 中間考査	ワークシート	
		6節 持続可能な住まいづくり	a：安全で快適な住まいや，社会環境・地域環境についての知識を身につけ，現在の住生活の課題についても認識できる。	授業プリント 中間考査		

※令和４年度以降入学生用

１２月前半	第９章　消費行動を考える	１節 消費行動と意思決定	a：消費行動について，さまざまな情報を収集しながら，自分の消費行動について検証することができる。 b：消費行動における意思決定の過程について，具体的な事例を通して主体的に考え，判断することができる。 c：自分が一消費者であることを自覚し，物・サービスの購入のあり方や，消費行動，消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	授業プリント	ワークシート	授業に取り組む態度
		２節 消費生活の現状と課題	a：消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき，また契約についての知識を身につけている。 b：多様化する販売方法や支払い方法について，問題点や解決策を考え，判断することができる。	授業プリント 期末考査	ワークシート	
１２月後半		３節 消費者の権利と責任	a：・消費者の権利と責任などについて理解できるとともに，現代の消費生活の課題について認識できる。 b：消費者としての自覚を持ち，消費者の権利と責任を考えることができる。	授業プリント 期末考査	ワークシート	
		４節 ライフスタイルと環境	a：家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 b：・消費行動と環境とのかかわりについて，生活と関連させながら課題をみつけ，解決の方向性を判断することができる。 ・環境に関するグラフなどから，生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。	授業プリント 期末考査	ワークシート	

※令和４年度以降入学生用

1月前半	第10章　経済的に自立する	1節 暮らしと経済	a: 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき，短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b: 現在の経済社会と家計との関係を考えながら，家庭の収入・支出・預金などについて，適切な考えをもち，判断ができる。 c: 自分の経済的自立を考えながら，家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について，積極的に理解しようとし，短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	授業プリント 期末考査	ワークシート	授業に取り組む態度
1月後半		2節 将来のライフプランニング	a: 短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して，経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b: 将来のライフイベントとその費用を考えることができる。	授業プリント	ワークシート	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度